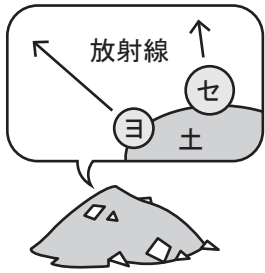


安心してX線検診を受けていただくために

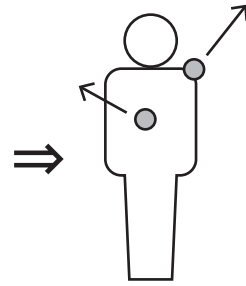
(財) 福島県保健衛生協会

現在、「胃のX線集団検診一回当たりの放射線は600マイクロシーベルト」というテレビ字幕が頻繁に放送されています。そのために胃X線検診に不安を持っておられる方もいらっしゃると思いますが、実際にはどうなのでしょう。

原発事故による被ばく

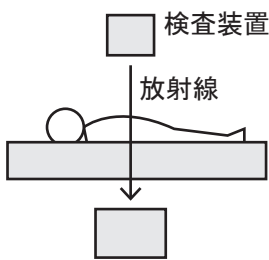


土壌や空気中のちり等に付着した放射性物質（セシウム、ヨウ素等）から放出される放射線（α線、β線、γ線）による被ばくです。

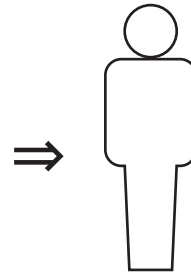


皮膚や衣類に付着したり、呼吸や、傷口から体内に取り込まれた放射性物質からの被ばくが長時間に渡って続きます。

検診による被ばく

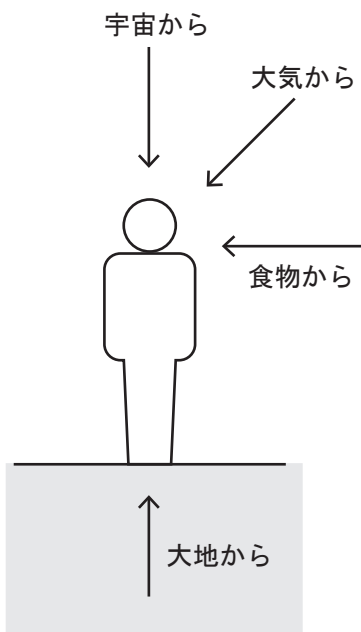


電気を利用し人工的に発生させた放射線（X線）による、局所だけの短時間の被ばくです。



検診後のX線は衣類・人体を透過した後、蓄積されることなく、直ちに消失し、継続した被ばくはありません。

自然放射線による被ばく



宇宙や大地、食物などからの放射線による被ばく。私達は、1年間に約2400マイクロシーベルト被ばくしています。

内訳

体内への被ばく：空気中から（呼吸から）	1300 マイクロシーベルト
体外への被ばく：大地から（皮膚から）	400 マイクロシーベルト
食物から	350 マイクロシーベルト
宇宙から	350 マイクロシーベルト

検診での放射線（X線）による被ばくは、放射性物質から放出された放射線（α線、β線、γ線）とは種類、被ばく時間（検診は短時間）が異なります。